

# ともえ



繁栄を  
あなたと育てる  
商工会議所



トラピスチヌ修道院

**No. 130** 函館商工会議所報  
1992— 5月号

はこしんは豊かな暮らしと  
 確かな未来の実現に  
 お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

Lhくみカードローン

20万円から200万円まで

使い方自由

らくらく返済

担保・保証人不要

★詳しくは窓口へ  
お問い合わせ下さい。



函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎代23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572代
- 上磯支店 ☎73-2308代
- 美原支店 ☎46-9121代
- 十字街支店 ☎26-5544代
- 花園支店 ☎55-2110代
- 富岡支店 ☎43-1311代

今月の表紙／視点  
会議所の動き……………2／5

・新幹線誘致に向け、官民一体のPR活動  
・道南商工会議所連絡協議会開催  
・文教委員会と市議会との懇談会開催  
・国際交流委員会開催

・国民珠算競技大会道南地区予選開催  
・第二期テクノポリス函館基金に寄付第一号

・(第19回)販売士検定で1級合格者が誕生  
データをチェック……………6

調査レポート……………6／9

・「地域の景気」金融経済概況(三月)  
・市内第一種大規模小売店舗売上高(三月)  
平成三年度「函館地域の経済動向

誌上講演……………10／11

・経営者のガン予防(2)  
・人の使い方 **災害防犯の心構え**

共済推進コーナー……………13／12

・暮らしのワンポイント「イカの皮むき」  
・さわやか君

右段を指して……………14／15

・アドバイスコナー……………16／17  
・賃金・諸手当の決め方と考え方(2)

Q & A……………18／19

・みんなの相談室 **税務相談**  
・**新会員紹介**  
・中小企業労働環境整備貸付  
・会員サービス事業ご利用のおすすめ

告知板……………20

・検定試験のお知らせ  
・(第23回)箱館五稜郭祭  
・ご利用下さい！本所の個別専門相談

◇今月の表紙

トラピスチヌ修道院

天使の聖母トラピスチヌ修道院は、北海道にキリスト教を伝導する為の精神的援助の必要性を痛感した、当時の教区長ベルリオズベクシーの修道院から派遣された八名の修道女によって、明治三十一年(一八九八年)に設立されました。

その後、修道女の数は年を追って増し、大正二年に増築を行いました。大正十四年に焼失、現在の建物は昭和二年に建築されたものです。

表紙写真は、入口付近にある聖ミカエル像です。ミカエルとは、「ブライ語で「神のように振舞う者は誰か」という意味の大神使で、聖ミカエルは神に反逆した悪天使と戦いこれを破り神に忠誠を誓いました。

トラピスチヌ修道院は、午前七時の開門から午後六時に閉門となるまで、毎日多くの観光客が訪れます。

視点

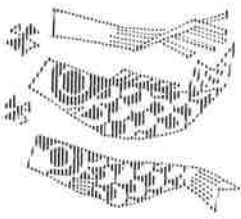
例年より少し早かった桜も終り、木々の緑も日毎にその濃さを増し、風薫る爽やかな五月を迎えました。

所で四月一日には、公定歩合の〇・七五%引下げが行われ、三年前と同じ水準となりましたが、その効果は現在のところ今一という感じで、株価の低迷も加わり、景気の方は、なお厳しい状況におかれています。

最近ヨーロッパやアメリカなど先進国の豊かさが、色々話題になり、内容的には停滞若しくは後退しているのではないかと考えも出されておりますが、一方では、従来いわれてきた「豊かさ」の概念を、これら先進国の西洋社会が自ら反省し、改めようとしているからだという見方もあります。言い方を変えれば少い労力や資金で、多くの収穫を得ることが豊かさの基本であるという従来の考え方を、改めて自ら問い直しているように見えるこれら先進諸国のやり方には、非常に柔軟性があり、物質的側面が強調されてきている現代に、精神的にも相当の余裕と幅をもつて、真の豊かさを求めるべく対応してきているとみてよいのではないかと思います。

日本ではまだこの余裕は感じられません。民族を取巻く環境や長い間の生活習慣が、簡単に変えられないことは理解できますが、世界最高の水準に達した部分もある日本としては、やはりすべてにもう少し余裕が欲しいものです。しかし、それにしては道路や下水道などの社会生活基盤も一日も早くこれら先進国に追いつきたいものです。

# 会議所の動き



## 新幹線誘致に向け 官民一体のPR活動を展開

北海道新幹線の着工については、当面東北新幹線青森開業時における函館までの同時開業をまず実現していくことで地元の意見は一致しており、そのためには、明年度に予定されている整備新幹線の政府、自由民主党の申し合わせ事項の見直しが最大の場であり、これに向けての運動が非常に重要なものとなっています。

そこで、このたび本所と函館市、北海道新幹線建設促進道南地方期



▲同時開業実現をPRする横断幕と懸垂幕

成会が中心となり、新幹線現函館駅乗入れ促進期成会など各関係団体、企業との連携、協力を得ながら、行政と民間が総力を結集し市民の方々の協力もお願いして次のようなPR活動を展開していくことになりました。

- (一) PR看板作成 (函館市本庁舎前)
  - (二) 懸垂幕、横断幕作成 (函館市本庁舎内、各デパートなど)
  - (三) PRステッカー作成 (ハイヤー、タクシー、市交通局、函館バス)
  - (四) PR名刺作成
  - (五) テレホンカード作成
  - (六) 新聞広告掲載
  - (七) PRペナント、ノボリ作成 (駅前地区及び五稜郭地区商店街)
- ※ PR名刺は本所でも販売致しておりますので、ご利用下さい。

## 全道大会への提出議案協議 道南商工会議所連絡協議会開催

道南商工会議所連絡協議会 (函館、森、伊達、室蘭、登別、苫小牧、浦河の七商工会議所で構成) の専務理事・事務局長会議が、去る四月二十一日森商工会議所で開催され、第四十二回全道商工会議所大会 (六月十日富良野市で開催) への提出議案について協議し、全道的見地に基づき各地で直面する諸問題について活発な討議が行われました。

本所からは、(一)北海道東北開発

- (二) 公庫本店の移転、(三) 北海道新幹線鉄道の早期着工、(四) 北海道縦貫自動車道等の建設促進、(五) 函館空港並びに函館港の整備充実、(六) 札幌地区における地方基幹空港の整備促進、(七) 観光振興対策の推進、(八) 青函インターブロック交流圏構想の促進、(九) 函館圏の地方拠点都市地域への指定、(十) 国立函館大学の設置の九項目について提案がなされました。

## 国立大学誘致で 文教委員会と市議会との懇談会開催

去る四月七日、市議会大学誘致等調査特別委員会（委員長・石井満氏）と本所文教委員会（委員長・池見厚一氏）との懇談会が五島軒駅前店において開催されました。

昨年十月、北海道教育大学函館分校将来計画委員会が策定した「函館分校分離独立構想第二次案」については、近く道教大としての方向づけが行われる予定であり、地元函館分校の意志がこのような形で示されたことは、今後の運動



▲懇談会で挨拶する小笠原副会長

展開にとって、一歩前進したものと いえましょう。

懇談会では、これを受けて実現に向けての最大のポイントはキャンパス用地の確保であること、そしていち早く開校した釧路公立大学や明年開校予定の青森公立大学

## 経済交流中心に活動することで一致 国際交流委員会開催

平成四年度第一回国際交流委員会が去る四月十六日、国際交流委員会担当の小笠原副会長始め十六名の委員が出席し、五島軒駅前店で開催されました。

会議では、まず始めに(一)市制施行七十周年記念事業のうち、国際交流に係る事業と経済界の対応、(二)（仮称）北海道物産フェア・ウラジオストク'93開催構想（案）の二点について、事務局より資料に基づき説明がなされ、引続き懇談に入りました。

の例を取り上げ、実現のためには地元住民の熱意が最も重要であり、それを示すためにも立看板や署名運動をまず展開し、一方では候補地の確保や資金の募集などを進め、全市をあげて対応していく必要があるとの見解で一致しました。

国立大学の設置は道南住民の悲願であり、今後、実現に向け更に強力な運動を展開していくことを確認し、終了しました。

懇談では、ロシアとの取引の多い漁業関係委員会を中心に、現在のロシアとの交易状況について、体験に基づいた多くの貴重な意見が

出されました。

また、今後の委員会活動については、姉妹都市ハリファックス市や、今夏姉妹都市調印予定のウラジオストク市、そしてレイク・マコーリー市などの、より詳しい経済情報を収集するとともに、大きく変動している世界の経済情勢等を把握するために有識者による講演会などを積極的に開催するほか、情報収集のために、必要な航空路、通信網などの整備も、関係方面に要請する必要があることで、意見が一致しました。

結局委員会としては、非常に多くの国際交流が行われる中で、経済交流を中心に、今後進めていくことを申し合わせ、委員会を終了しました。

## 今月25日は、本年度会費等の口座振替日です。

本所では、平成四年度の会費・特別会費等を五月二十五日にご指定の金融機関より口座振替させていただきますので、よろしくご願ひ申し上げます。

また、口座振替の手続きをなされていない事業所につきましては、従来どおり、専用振込用紙をご送付申し上げますので、五月末日までに、ご納入下さいますようお願い申し上げます。

# 函館・苫小牧両会場で 国民珠算競技大会道南予選開催

去る四月二十六日、第四十六回国民珠算競技大会道南地区予選が函館並びに苫小牧の二会場で開催された。

これは五月三十一日に浜松市で開かれる中央大会への代表を選出するためのもので、両会場合わせて五十二人の選手が日頃磨いた技を競いました。

当日は、各種目で熱戦が展開され、競技の結果栄誉ある「そろばん道南一」の座は、二年連続で西谷誠一さん（室蘭清水丘高校教師）



▲日頃磨いた技を競う参加者

が勝ち取り、道南地区代表選手として中央大会への出場資格を獲得しました。

■国民大会予選入賞者（函館分）

▼個人競技

二位／高橋 大輔（ラサール高）

石井 智昌（函館中部高）

野田 祐樹（北海道教育大）

高橋 愛（森中学校）

▼団体の部

二位／函館東高校

三位／函館商業高校

また、同日は第二十四回全国小

学生珠算競技大会も同時に開催さ

れ、二会場で八十四人が参加、七

飯町立七重小学校六年の、大川佳

奈子さんが優勝しました。

■小学生大会入賞者（函館分）

二位／八木 泰樹（昭和小）

若林 肖（北星小）

三木 啓恵（八雲小）

三位／斉藤 弥佳（八雲小）

田中 純広（鷺ノ木小）

山崎 秀和（中部小）

高橋 桃（鷺ノ木小）  
荒谷 早紀（金堀小）  
優良賞／阿部 謙太（上磯小）  
高松佐千子（上湯川小）

中村 大竜（駒場小）  
新井 優子（鷺ノ木小）  
出村 友則（万年橋小）

## 第二期テクノポリス函館 の基金に寄付第一号

去る四月十三日、本所副会頭でもある榑エヌイーシー代表取締役社長の沼崎弥太郎氏は、建設中であった函館初のインテリジェントビルの完成等を記念して、財団法人函館技術振興協会へ、三百万円を寄付されました。

同協会では、四月二十八日認可のテクノポリス計画推進のため、平成七年度までに六億を積み増して、基金総額を二十億一千万円とする予定であり、この基金に対する第一号の寄付として、木戸浦市長立会いのもとに、川田寛理理事長に手渡されました。  
テクノポリス函館の第一期計画

は、昭和五十九年七月、国の指定を受けて実行に移され、今回終了することとなりましたが、その間、同協会による「研究開発」や「技術の高度化」のための諸事業が、高い評価を受け、また第二期計画の諸事業についても、その実施が期待されており、本所としてもこの基金増しのための募金に対して、各企業の絶大な協力を期待しております。

## 10年ぶりに 販売士1級合格者！

日本商工会議所、函館商工会議所主催の小売商（販売士）検定試験が、去る二月十九日施行され、古川隆志さん（東芝E&S北海道



（函館支店勤務）が、見事一級に合格しました。

販売士試験は、小売・卸売業者の商業関係の幅広い知識と販売技術向上を狙いに、日商が昭和四十八年から実施しており、本所管内での一級合格者は十年ぶり、九人目です。



# 事務局日誌

## 4月

### \*正副会頭会議

21(火) 第13回正副会頭会議

### \*委員会

7(火) 文教委員会と市議会大学誘致特別委員会との合同会議  
13(月) 国際交流委員会正副委員長会議  
16(木) 国際交流委員会

### \*会議(道商連)

8(水) 平成3年度経営改善普及事業補助金等に係る実績報告書の審査

### \*会議(ブロック会議)

21(火) 道南商工会議所連絡協議会

### \*審査会

22(水) 小企業等経営改善資金審査会

### \*諸会議

2(木) 婦人会役員会  
3(金) 箱館五稜郭祭協賛会監査  
4(土) 市民創作「函館野外劇」の会担当理事会  
◇ 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会会長と自民党総務会長佐藤孝行代議士との懇談  
6(月) 函館財務事務所との財政金融政策等に関する懇談  
7(火) 宝くじスポーツフェア北海道実行委員会設立総会  
◇ 管理職会議  
8(水) 箱館五稜郭祭協賛会理事会  
9(木) 函館都心商店街近代化委員会  
10(金) 北海道開発局函館開発建設部、地域整備に関する聴き取り調査  
13(日) 議会議役員会  
◇ (財)テクノポリス函館技術振興協会基金造成に関する打合せ会  
14(火) 箱館五稜郭祭協賛会募金委員会  
◇ 婦人会定時総会並びに懇親会  
16(木) 月刊イズム「渡島松山支庁圏21世紀の展望」企画打合せ  
18(土) 市民創作「函館野外劇」の会理事会  
◇ ハバロフスク市医師一行との夕食懇談会  
20(月) 北海道自衛隊退職者雇用協議会函館支部定期総会  
21(火) 渡島地方技能尊重運動推進協議会理事会  
◇ 北海道開発幹線自動車建設促進期成会平成4年度総会  
22(水) 市民生協旭岡店・湯川店の休業日数削減に係る市商連と市民生協との協議会  
23(木) 函館経済団体協議会事務局打合せ  
◇ 四共済受託幹事会社との打合せ  
24(金) 青函インターブロック交流圏構想推進協議会連絡会  
27(日) 婦人会役員会  
28(火) みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会役員会総会  
第86回函館園優良品土産品推奨会入賞商品表彰式  
◇ 函館港利用促進協議会理事会・総会  
◇ 平成4年度北海道中小企業団体中央会道南支部通常総会

### \*講習・催物

3(金)・7(火)・10(金)  
14(火)・17(金)・21(火)  
24(金)・28(火)  
8(水) 経営相談  
17(金) 平成4年度汚染負荷賦課金申告・納付説明会  
24(金) 法律相談

複式簿記講習会

### \*刊行物

所報「ともえ」4月号 No.129

### \*相談・診断

金融 125 税務 26 経理 15 経営 38 労働 3  
取引 0 その他 0 合計 207

### \*貸室

16

### \*文書

受信 249 発信 25

### \*珠算大会

26(日) 第46回国民珠算競技大会道南地区予選  
◇ 第24回全国小学生珠算競技大会

### \*陳情・要望

21(火) 北海道開発幹線自動車道建設に関する中央陳情(北海道開発幹線自動車道建設促進期成会)  
26(日)~28(火) 函館-福岡間直行航空路線開設お礼訪問(函館空港整備促進連絡協議会)

### \*慶弔・その他

1(水) 函館国際ホテル開業満20周年祝賀会  
2(木) 函館三菱自動車販売(株)新役員披露祝賀会  
◇ 函館空港長歓迎迎会  
3(金) 株九紅北海道支社長島田和男氏表敬訪問  
◇ 陸上自衛隊第28普通科連隊長岩嶺進氏表敬訪問  
7(火) 陸上自衛隊第28普通科連隊入隊式  
8(水) 陸上自衛隊第11師団長川名正浩陸将表敬訪問  
◇ 日本団体生命保険(株)北海道営業局長塚田博氏表敬訪問  
9(木) 三菱総合研究所主任研究員稲垣清氏表敬訪問  
12(日) 函館生鮮食品小売業連絡協議会創立記念祝賀会  
14(火) 公明党副委員長三木忠雄氏表敬訪問  
◇ (社)全日本司厨士協会函館支部平成4年度懇親会  
17(金) 北海道新技術産業課長小林薫和氏表敬訪問  
21(火) 市民創作「函館野外劇」の会平成3年度国土庁全国地域づくり表彰国土庁長官賞第一席受章記念祝賀会  
23(木) 株湯の川グランドホテル別館シーサイドパレス新築記念祝賀会  
24(金) 日本航空(株)函館-福岡線就航第一便出発式  
日本航空(株)函館-福岡線開設披露祝賀会  
25(土) アマコスト駐日大使との親善ゴルフ  
◇ 函館日米協会設立1周年記念「アマコスト駐日大使夫人ピアノコンサート」  
26(日) 函館日米協会設立1周年記念「箱館開港とペリーの足跡展」オープニングテープカット  
27(日) ウラジオストク市教育部長リュドミラ・ガラシュータ氏、国際部次長オルガ・リトビネンコ氏表敬訪問  
30(木) 函館地域FM実験放送開始式典

事の発注から土木主体の先が例年並みの受注ベースを維持しているが、建築主体の先では受注鈍化が続いている。

(5) 漁業

噴火湾ホタテ漁は、貝毒発生もなく順調な水揚げが続いたため、前年を上回る数量を記録して終漁。また近海鱒漁はますますの漁模様となっている。

(6) 消費関連

3月中の市内大型小売店（10店）売上は、食料品が底固い動きを示したものの、百貨店筋における衣料品、雑貨の売れ行きが鈍く、全体として盛上がりに欠ける動きとなった。また耐久消費財をみると、自動車販売では小型・大衆車の不振に加え、このところ高級車販売も鈍ってきており、乗用車登録台数が11か月連続で前年を下回った（前年比 9.6%のマイナス）ほか、家電販売も主力オーディオ製品を中心に引続き伸び悩んだ。一方、観光客の入込みは引続き好調裡に推移しており、ゴールデンウィーク期間中の宿泊予約も順調

に入っている。

3. 金融事情(3月中)

実質預金は、法・個人預金とも引続き不況え裡に推移しており、前月末休日に伴う法人預金高止まりの剝落もあって、月中 126億円減と前年の 206億円増とは様変わり減少。一方、貸出しも設備需資を主体に依然盛上がり欠いており、預金同様休日要因の剝落と相まって月中 157億円増と前年の 361億円増を大きく下回る増加に止まった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、利下げの浸透を映じ、短期を中心に月中 0.114%マイナスと引続き低下した。

銀行券は、期末決済資金等の支払を中心に月中10億円の発行超となったが、発行超幅は行楽資金等の順調な還流もあって前年の21億円を下回った。

財政収支は、租税、保険の受入や資金運用部貸付の返済等から月中84億円の受超となった（前年は同98億円）。

データをチェック!

「物」より「心」の豊かさを

～ 精神的ゆとりの充実へ ～

『日本の高い経済力と国民生活の豊かさとの間には、かなりの開きがある』と、指摘されています。

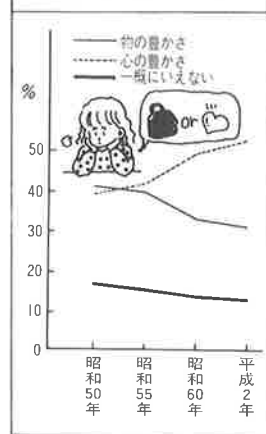
実際はどうでしょう。国民全体の85.3%が「日本は高い経済力をもっている」と考えているのに対し、「生活が豊かである」と考えている人は55.6%と、約半数にとどまっています。この二つの数字はともに、過去の値を上回っていますが、狭まる傾向はみられません。

では、今後の生活で、「心の豊かさ」と「物の豊かさ」のどちらを重視するかをみてみましょう。

石油ショック後の数年間はほぼ同じ割合でしたが、その後は「心の豊かさ」を重視する人が増え続け、最近では、「心の豊かさ」が30.8%とその差は20%強となっています。

高い経済力に裏付けられた「物」に対しては、ある程度満足しているが、時間的なゆとりを中心にした「心の豊かさ」は、まだまだ満足の域に達していないというのが、実情ではないでしょうか。

心の豊かさか物の豊かさか







## 1. 概況

最近の管内経済動向をみると、当地主力の観光関連は好調を維持しているほか、公共投資も順調な発注が行われている。これに対し、百貨店売上は伸び悩み気味で推移、大手出先工場も慎重な生産を行っているほか、住宅建築関連業種でも不振が続いており、全体として管内企業の経済活動は引続き緩やかに減速しつつある。

すなわち、製造業では、電子部品が国内パソコン需要鈍化等から、また木材・木製品が住宅着工の停滞を背景に、それぞれ引続き生産調整を行っているものの、豊富な受注残を抱えている造船、一般機械が高操業を続けているほか、水産加工、乳製品も高めの生産水準を維持している。一方、非製造業では、建設で民間工事受注の鈍化から建築を主体とする先の仕事量が減少傾向にあり、消費関連でも乗用車や家電等耐久財の売れ行きが低迷しているほか、衣料品や雑貨を中心に百貨店の売上もこのところやや伸び悩み気味。もっとも当地主力の観光関連は引続き底固く、ゴールデンウィーク期間中の宿泊予約も順調に入っている。

こうしたなか、最近の雇用動向をみると、一部製造業や卸・小売、サービス関連で新規求人に対し慎重なスタンスをとる動きが見

され始めており、管内の労働需給は徐々に引緩みつつある。

3月の金融動向をみると、預金、貸出しとも引続き不冴え裡に推移。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、利下げ浸透を映じ短期を中心に引続き低下した。

## 2. 主要業種別動向

### (1) 機械

半導体は、国内外でのパソコン需要の低迷等から、また水晶振動子も、移動体通信機器向けの需要一服等から、それぞれ抑制的な生産スタンスを継続。一方、一般機械では、水産加工関連が伸び悩み傾向にあるものの、製缶関連は豊富な受注残消化のため、また合板関連は不冴えな内需を東南アジア向け輸出でカバーし、それぞれ足許高めの生産体制を維持しているほか、造船でも新造船建造をベースに高操業を続行している。

### (2) 食料品

水産加工では、行楽需要の盛上がり等を背景として総じてみれば高水準の前年を上回る出荷ペースを維持する先が多く、また乳製品も練乳主体に高めの生産を続行。一方、飼料・魚油は引続き前年を下回る生産、出荷となっている。

### (3) その他製造業

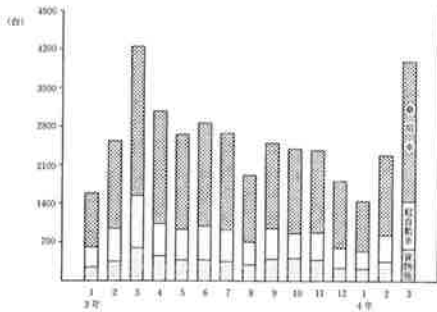
セメントは、国内需要が鈍化するなかで生産設備の修繕を進めており、これまでの高めの生産はやや一服、段ボールも主力青果物の出荷端境期に伴い引続き前年を下回る出荷となった。また合板は、住宅着工の停滞による需要低迷から引続き抑制的な生産姿勢で臨んでおり、漁網の受注も減少傾向を辿っている。

### (4) 建設関連

市内新設住宅着工戸数は、持家等が持ち直し傾向にあるものの、マンション・アパート等の落込みから全体では15か月連続して前年を下回った。こうしたなか、建設筋の手持ち工事量は、国庫債務負担行為に基づく公共工

車種別では、景気の先行き懸念から買い控えが広がった乗用自動車が、19,232台で同4.9%減、貨物・その他は4,434台で同3.8%減、軽自動車は6,271台で同13.4%減と大きく落ち込んだ。

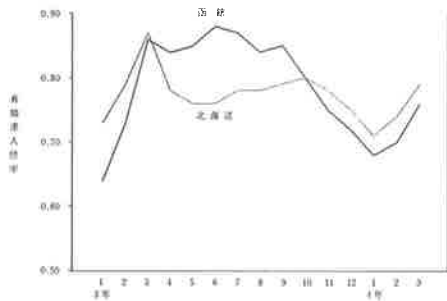
(図-3 新車登録台数)



4. 雇用情勢

3年度の函館職業安定所管内の雇用情勢は、

(図-4 雇用情勢)



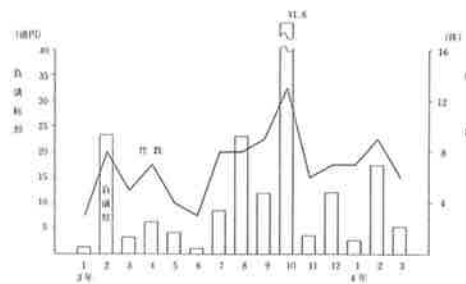
月平均有効求職者数が前年度を3.8%下回る5,821人、月平均有効求人数は4,630人と同12.0%増加しており、有効求人倍率は過去最高の0.80倍となった。(常用・パート含む)

5. 企業倒産状況

3年度の函館管内企業倒産(負債額1,000万円以上、内整理を含む)は、87件で前年度より49件の増加、負債額も前年度比2.4倍の137億2,700万円で、ここ数年来続いてきた沈静化傾向から一転、高水準に推移した。

業種別では、製造業4件・7億7,000万円、建設業31件・45億9,000万円、卸売業4件・6億3,500万円、小売業29件・23億7,200万円、飲食業6件・1億5,000万円、その他13件・52億1,000万円となっている。

(図-5 企業倒産状況)



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成4年3月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	4,087,735	101.2	163.7
身回り品	899,804	103.9	166.5
雑貨	1,000,752	95.5	121.3
家庭用品	870,430	95.3	148.2
食料品	2,086,861	102.9	114.7
食堂・喫茶	192,988	98.6	142.7
サ―ビス	144,463	95.9	135.4
その他	548,216	121.3	160.9
総計	9,831,249	101.5	143.5

統計資料

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、タイエー五稜郭、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、タイエー湯川店の各店

# 函館地域の 経済動向

平成3年度 総括版

平成3年度函館地域経済動向(本所調査)は個人消費面では、労働需給の引締まり基調を背景に、賃金が相応して増加したことを反映して、全体としては堅調に推移したが、自動車など耐久消費財は調整局面に入り精彩を欠いた。また民間建築・製造業の一部でもそれぞれ減少・生産調整の動きがみられ、企業倒産件数も8年ぶりに増加に転じたことなどから、総じては緩やかな減速傾向を辿った。

## 1. 公共事業発注状況

3年度の函館管内公共事業発注状況は、全体の発注額が819億4,200万円で前年度実績(810億6,000万円)を1.1%、8億8,200万円上回った。

機関別にみると、函館開発建設部がダム部門や港湾部門の減が大きく、発注額366億9,300万円で前年度(384億1,700万円)を4.5%下回ったが、土木現業所では空港部門や漁港部門が伸び、発注額300億3,900万円と前年度(285億2,600万円)を5.3%上回った。函館市も公営住宅建設や区画整備事業の進捗により、発注額152億1,000万円で前年度(141億1,700万円)より7.7%の増加となった。

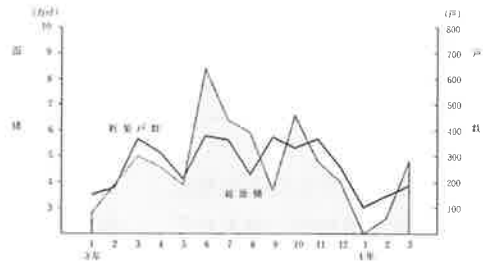
## 2. 建築着工状況

3年度の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が574,936㎡で前年度より17.9%減少、うち住宅部分床面積は338,091㎡、同25.7%の減で5年ぶりの前年度割れとなった。

住宅総戸数は3,603戸で同34.3%の減少、うち新築住宅は3,281戸、同35.5%減少、増改築も322戸で同18.9%減少と大きく落込んだ。新築住宅の内訳は、持ち家1,167戸(前年度比7.5%減)、貸家1,249戸(同43.2%減)、分譲727戸(同52.5%減)、給与138戸(同45

.3%増)と、民間(社宅)・公共を含む給与住宅が高い伸びを示したものの、これまで順伸びしてきた貸家・分譲が減少に転じた。

(図-1 建築着工状況)



## 3. 個人消費

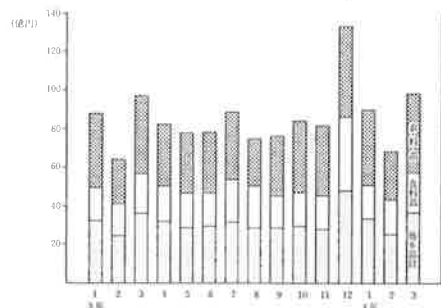
### ①大型店売上高

3年度の市内第一種大型店売上高(ニトリ家具を除く10店、消費税分除く)は、総額で1,034億8,614万円で、前年度を35億7,413万円、3.6%上回り、初めて1,000億円台を突破した。

品目別では、衣料品が411億3,911万円、同4.1%増、食料品が243億2,354万円、同4.1%増と、主力2品目は堅調な実績を示した。以下、雑貨同5.1%増、家庭用品同2.8%増、身回り品同5.1%増と好調を維持している。

年度内の動きをみると、前年同期比で4～6月期に4.7%増となった後、7～9月期に2.7%増、10～12月期3.7%増、1～3月期3.3%増と夏場と冬場でやや伸びを低めた。

(図-2 大型店売上状況)



### ②新車登録台数

3年度の函館管内新車登録台数は、29,937台で前年度に比べ2,136台、6.7%の減少となり、前年までの拡大基調から一変し減少基調となった。

# 日本人の「ガン」の現状

—「塩分摂取」が減り、胃ガン減少!—



経営者のガン予防 (2)

癌研究所 主任研究員 坂元 吾偉  
医 学 博 士

わが国でのガンによる死亡者数は年々増加の一途をたどり、1981年からガンが死亡原因の第一位になりました。

1990年のガンによる死亡者数は217,000人(男性130,000人、女性87,000人)で、全死亡者数の27%を占めています。ガンによる死亡者数が年々増加している原因としては、平均寿命の延長によるガン年齢人口の増加や、環境発ガン因子の増加があげられます。ガンの発生率は一般に加齢とともに増加し、40歳以上に多く発生します。そのため通常40歳以上を「ガン年齢」と呼びます。また、文明の発達に伴う大気汚染や水質汚濁、さらには食品添加物、食品防腐剤、残留農薬、包装材料、医薬品などのなかに発ガン物質が含まれる可能性はますます増大する傾向にあります。

1990年の男女の部位(臓器)別ガン死亡者数は表1に示すとおりで、男女とも多い方から胃ガン、肺ガンの順になっています。

一方、ガン発生数(罹患者数)についてみると1985年の一年間のガン発生総数は32万人で、これは同じ年のガンによる死亡者数19万人よりも

13万人も多い数です。発生順位をみると男性では胃ガン、肺ガン、肝臓ガンの順でこれは死亡順位と同じです。一方女性では胃ガン、乳ガン、子宮ガンの順で、死亡割合では少ない乳ガンと子宮ガンの発生が多くみられます。

(表2参照)

ガンの発生にも流行病的な面があります。ガンには人間として生まれたらある程度避けることのできない「基本ガン」と、生活様式や環境の変化に伴って発生率が変動する「変動ガン」があります。基本ガンの発生率はほぼ一定しているのでガン発生率の変動は生活様式や環境の変化によってもたらされます。

同じ臓器でも基本ガンと変動ガンがあります。現在わが国で最も発生率の高い胃ガンでは、通常粘膜から発生する「未分化ガン」が基本ガンで、年をとって胃の粘膜が腸の粘膜に近くなる腸上皮生粘膜から発生する「分化ガン」が変動ガンです。年をとると淡白な食物を好むのは胃の粘膜が腸上皮生を起こして胃酸分泌が少なくなるためです。この腸上皮生は塩分の摂取量と関係しています。

経年的にみると日本人の胃ガン発生率は減少傾向を示しています。それは日本人の塩分摂取量が減ったため胃の腸上皮生が減り、胃ガンの発生が減少してきたという訳です。

このように食生活をはじめとする生活の仕方そのものがガン発生の増減にも関係します。

つづく

表1 男女の部位別ガン死亡者数(1990年)

順位	男			女		
	部位	死亡数	%	部位	死亡数	%
1	胃	29,909	22.9	胃	17,562	20.2
2	肺	26,672	20.6	肺	9,614	11.0
3	肝	17,766	13.6	結腸	7,718	8.9
4	結腸	7,731	6.0	胆のう	6,802	7.8
5	リンパ節	7,184	5.7	肝	6,447	7.4
6	脾	7,317	5.6	腎	6,001	6.9
7	食道	6,004	4.6	乳腺	5,848	6.7
8	直腸	5,569	4.3	リンパ節	5,308	6.1
9	胆のう	5,069	3.9	子宮	4,355	5.2
10	前立腺	3,490	2.7	直腸	3,701	4.3
その他	13,134	10.1	その他	13,282	15.2	

(人口動態統計)

表2 ガンの推計罹患患者数(1985年)

順位	男			女		
	部位	罹患数	%	部位	罹患数	%
1	胃	59,250	33.6	胃	34,101	23.9
2	肺	24,654	13.9	乳腺	19,821	13.9
3	肝	15,981	9.0	子宮	17,831	12.4
4	結腸	11,933	6.7	結腸	11,095	7.8
5	直腸	9,123	5.1	肺	9,580	6.7

(厚生省第五次悪性新生物学調査)



わが国産業界の設備や技術は先進国の中でもトップレベルにあることは周知のことであるが、それにもかかわらず労働災害の発生率も先進国のうちでは相当に高い。その災害の原因は何かというと、ほとんどは作業員のちよつとした不注意や気のゆるみによるものだそうである。

そうならば不注意や気のゆるみを減らすことが災害防止の最も有効な対策と言える訳だが、ではどうすればこれができるかだが、まず不注意から考えてみよう。

人間の注意力が低下する原因はいろいろあるが、主なものは疲労とか病気で身体的機能が低下しているとき、大きな悩みとか不満があつて心理的に安定性の欠けているとき、さらには、精神的には安定しているが、注意すべきことが行動の中心になっていない場合——例えば買い物に出たついでに手紙をポストに入れようと思つて忘れるなど——の他に、注意力の限界を越えてしまった場合というものがある。

これは人間が一つのことに注意

を集中できる時間は数秒という短い時間であるし、またあることに注意が集中すれば、他のことへの注意がおろそかになつてしまふということもあつて、時間的にも数量的にもある限界をこえて注意力を持続することはできないのである。

こうしたことを考えると、危険

### 災害防止の心得



を伴う作業には体調の悪い者や、精神的に安定を欠いている者は就業させないようにするか、危険度の特に高い作業は複数者の注意力を結集することが必要である。

次に気のゆるみであるが、気のゆるみと不注意とは似たようなものだが、気のゆるみのほうには慣

れとか過信といった要素があるようだ。

安全装置を外したまま作業を続けていても事故にあつたことがないとして慣れて、面倒な安全装置など不必要と気をゆるめて事故にあつたとか、また、機器の能力を過信して、この機械なら安全だと思ひ込んでしまうのがそれである。

確かに今日のわが国の機器は性能も極めてよく、安全性などについても相当に配慮されてはいるが、精密にできているだけに僅かの温度変化や電圧変化、異常電波などでも敏感に反応して、誤作動をしようといつたことも珍しくないのである。現に異常電波にロボットの反応して人身事故を起こしたといった例もある。

この気のゆるみに対する対策だが、安全に作業するための機器の保守とか作業手順とかをきちんとルール化し、それを確実に守らせるように教育して、習性としてしまふことが最も効果があるようだ。

いずれにしても一度災害を起こすと、企業の経済的な負担も大変なものであるから、その防止には一段の努力を傾けてほしい。

(群馬女子短期大学教授・内田 知二)

# 北海道水産製造株式会社

総務部 札幌市中央区北5条西6丁目(札幌センタービル12F)

〒060 電話代表(011)205-5146番

代表取締役社長 高野洋蔵

営業種目 冷凍冷蔵及び水産物製造加工販売・不動産賃貸業

営業部・業務部 / 函館市豊川町27番5号 〒040 電話代表(0138)22-7136番  
根室冷凍工場 / 根室市西浜町10丁目36番地 〒087 電話代表(01532)3-4185番  
東京事務所 / 東京都港区芝浦4丁目16番36号 〒108 電話代表(03)3451-0194番